日本青果物輸出促進協議会

令和２年度補正
重点分野・テーマ別の販売促進活動（シンガポール）実施報告

■事業実施主体

日本青果物輸出促進協議会

■実施店舗（11 店舗）

・DONDON DONKI オーチャードセントラル店
・DONDON DONKI 100AM 店
・DONDON DONKI シティスクエアモール店
・DONDON DONKI スクエア 2 店
・DONDON DONKI クラークキーセントラル店
・DONDON DONKI JEM 店
・DONDON DONKI J-CUBE 店
・DONDON DONKI ハーバーフロントセンター店
・DONDON DONKI ダウンタウンイースト店
・DONDON DONKI サンテックシティ店
・DONDON DONKI Tampines1 店

日本の製品に関心が高く、中間所得層（アッパーミドル）が主に訪れるの日系小売店で実施。

■実施概要

・日本産青果物の通年販売、および輸出拡大を目的に、POP を活用してフルーツを中心とする青果物の PR を行った。当初はプロモーターによる店頭試食提供を予定していたが、コロナウイルス感染症の防疫措置により、プロモーターの配置が出来なかった。

■期間

2021 年 5 月～2022 年 2 月
内容：プロモーターによる試食提供、商品 PR、売り場装飾

■プロモーション品目

メロン、桃、梨、ぶどう、りんご、柿、みかん、洋ナシ、あんぽ柿、いちご

■プロモーションの模様

DONDON DONKI オーチャードセントラル 店

DONDON DONKI スクエア２店

DONDON DONKI JEM 店

■POP 類

■総評

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、海上コンテナの遅延が頻発し、商品の安定供給が難しかったこともあり、輸出量はいちご、桃、ぶどう、柿、りんご、梨、みかん、メロン合わせて約 165 トンにとどまった（前年約 180 トン）。また今年度は春先の雹の影響で梨の価格が高く、その影響で約１.5 トンしか輸出できなかった。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、店頭に客足が戻ることが予想されるが、日本と同様行動自粛により EC の需要が高まっているため、次年度はネットでの販売促進も検討したい。